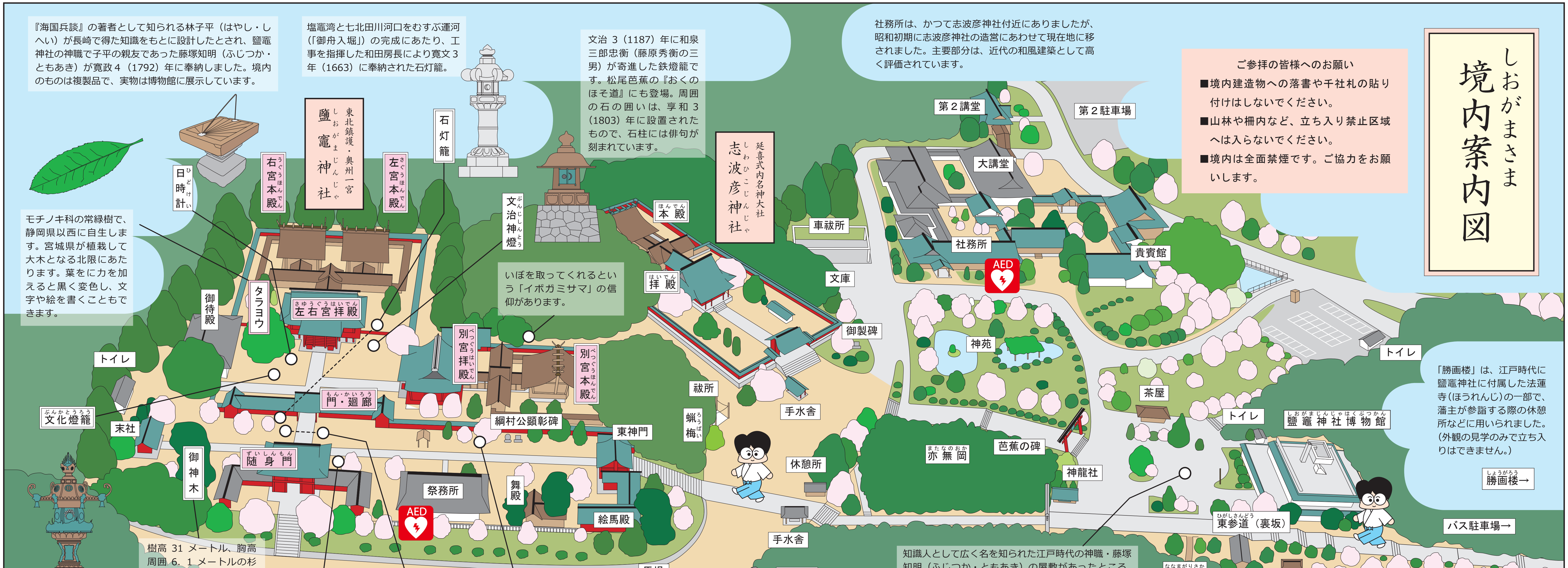
しおがまさま 境内案内図


東北鎮護・奥州一宮
鹽竈神社（しおがまじんじゃ）
延喜式内名神大社
志波彦神社（しわひこじんじゃ）
日時計（ひどけい）
右宮本殿（うぐうほんでん）
左宮本殿（さぐうほんでん）
石灯籠
文治神燈（ぶんじしんとう）
本殿（ほんでん）
拝殿（はいでん）
御待殿
タラヨウ
左右宮拝殿（さゆうぐうはいでん）
別宮拝殿（べつぐうはいでん）
別宮本殿（べつぐうほんでん）
トイレ
文化燈籠（ぶんかとうろう）
末社
門・廻廊（もん・かいろう）
綱村公顕彰碑
東神門
祓所
蝋梅（ろうばい）
手水舎
随身門（ずいしんもん）
御神木
祭務所
AED
舞殿
絵馬殿
馬場
休憩所
手水舎
トイレ
第２講堂
第２駐車場
大講堂
車祓所
社務所
AED
貴賓館
文庫
御製碑
神苑
茶屋
トイレ
亦無岡（またなのおか）
芭蕉の碑
神龍社
トイレ
鹽竈神社博物館（しおがまじんじゃはくぶつかん）
東参道（裏坂）（ひがしさんどう）
七曲坂（ななまがりさか）
勝画楼（しょうがろう）→
バス駐車場→

ご参拝の皆様へのお願い

- ■境内建造物への落書や千社札の貼り付けはしないでください。
- ■山林や柵内など、立ち入り禁止区域へは入らないでください。
- ■境内は全面禁煙です。ご協力をお願いします。

『海国兵談』の著者として知られる林子平（はやし・しへい）が長崎で得た知識をもとに設計したとされ、鹽竈神社の神職で子平の親友であった藤塚知明（ふじつか・ともあき）が寛政４（1792）年に奉納しました。境内のものは複製品で、実物は博物館に展示しています。

塩竈湾と七北田川河口をむすぶ運河（「御舟入堀」）の完成にあたり、工事を指揮した和田房長により寛文３年（1663）に奉納された石灯籠。

文治 3（1187）年に和泉三郎忠衡（藤原秀衡の三男）が寄進した鉄燈籠です。松尾芭蕉の『おくのほそ道』にも登場。周囲の石の囲いは、享和 3（1803）年に設置されたもので、石柱には俳句が刻まれています。

社務所は、かつて志波彦神社付近にありましたが、昭和初期に志波彦神社の造営にあわせて現在地に移されました。主要部分は、近代の和風建築として高く評価されています。

モチノキ科の常緑樹で、静岡県以西に自生します。宮城県が植栽して大木となる北限にあたります。葉をに力を加えると黒く変色し、文字や絵を書くこともできます。

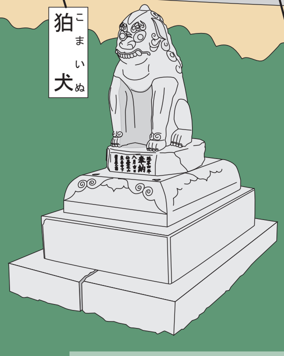
いぼを取ってくれるという「イボガミサマ」の信仰があります。

「勝画楼」は、江戸時代に鹽竈神社に付属した法蓮寺（ほうれんじ）の一部で、藩主が参詣する際の休憩所などに用いられました。（外観の見学のみで立ち入りはできません。）

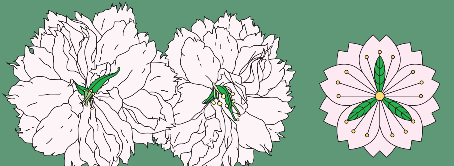
樹高 31 メートル、胸高周囲 6．1 メートルの杉の大木で、樹齢 800 年と推定されています。

知識人として広く名を知られた江戸時代の神職・藤塚知明（ふじつか・ともあき）の屋敷があったところ。多くの文人が来訪しました。現在は博物館があります。

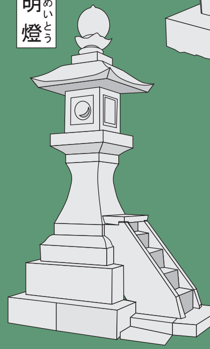
馬場では、毎年７月第２日曜日に流鏑馬神事が執り行われます。



鹽竈ザクラ



仙台藩が幕府の命令により北海道の警備を行った際、鹽竈神社に無事を祈願しました。この燈籠は、警備の無事遂行を感謝して、文化６（1809）年に９代藩主・伊達周宗公によって奉納されたもので、装飾が見事です。レリーフには、いろいろな動物がいますよ。


長明燈（ちょうめいとう）

鹽竈神社の狛犬のなかでも、延享４（1747）年奉納の一対は、ずんぐりした特徴のあるスタイルで有名。

古くから著名な品種で、この場所以外にも境内にある 27 株が天然記念物。鹽竈神社の御社紋も鹽竈ザクラです。花の見頃は４月の下旬。鹽竈神社では、５月１０日を「鹽竈ザクラの日」と定めて生長を願う祈願祭が斎行されています。

◆志波彦神社（しわひこじんじゃ）

◇御祭神：志波彦神（しわひこのかみ）　◇御神徳：農業守護、国土開発、殖産興業　◇例祭日：３月２９日

志波彦神（しわひこのかみ）は、鹽竈さまと共に当地を治められた神様です。『延喜式』にも記載される高い格式を持つお社で、明治４（1871）年に国幣中社に列格しました。明治７（1874）年に岩切（現仙台市宮城野区）より鹽竈神社に遷祀し、昭和 13 年に現在の社殿が竣工して御遷座されました。

◆鹽竈神社（しおがまじんじゃ）

◇御祭神：別宮・塩土老翁神（しおつちおぢのかみ）、左宮・武甕槌神（たけみかづちのかみ）、右宮・経津主神（ふつぬしのかみ）

◇御神徳：武運長久、塩業・漁業守護、安産守護、家内安全、延命長寿、交通安全　◇例祭日：７月１０日

古くは平安時代の『延喜式』に「鹽竈神」の記載がみられます。国司や有力武家らによる庇護を受け、江戸時代には仙台藩主・伊達家により厚い崇敬が寄せられました。現在の社殿は、宝永元（1704）年に竣工したもので、本殿・拝殿ほか計 14 棟、石鳥居１基、棟札 11 枚が国の重要文化財に指定されています。

表参道は、202 段の急な石段。足元に注意。年３回の「氏子祭」では、重さ約１トンの大神輿が渡御します。

○帆手祭（３月 10 日）
○花まつり（４月第４日曜日）
○みなと祭（７月海の日）

表参道（表坂）（おもてさんどう）

仙台藩の財政に深く関わった大坂の豪商・升屋の山片平衛門重芳により享和元（1801）年に寄進された燈籠。境内にある石燈籠としては最も立派なものです。

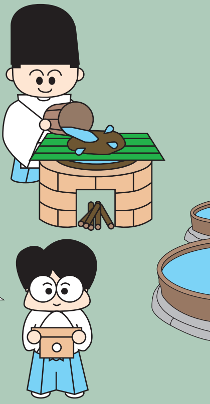
■指定文化財について、以下のように示しました。

🟥	国指定重要文化財・記念物
☐	宮城県指定文化財・記念物
☐	塩竈市指定文化財・記念物

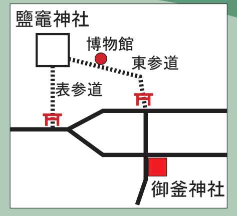
石鳥居（いしとりい）

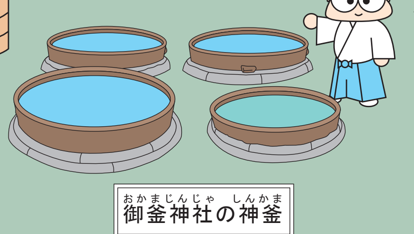
表坂の石鳥居は、寛文 3 年（1663）に伊達亀千代（綱村）公によって造立されたもので、現在の御社殿より早い時期のものです。

藻塩焼神事（もしおやきしんじ）



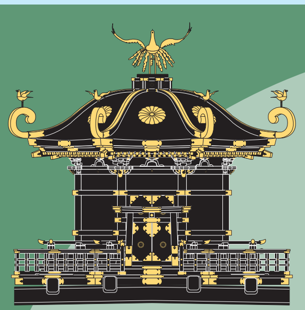
毎年七月四日から六日にかけて御釜神社でとり行われる「藻塩焼神事」では、海藻を用いた塩づくりの様子がご覧になれます。


鹽竈神社
博物館
東参道
表参道
御釜神社

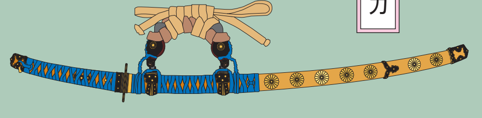


御釜神社の神釜（おかまじんじゃ　しんかま）

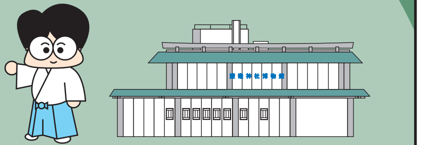
塩竈市本町にある御釜神社には、塩土老翁神様が塩づくりにお使いになったという「四口の神釜」が奉安されています。



鹽竈神社大神輿



伊達家歴代藩主奉納太刀

博物館では、志波彦神社と鹽竈神社の大神輿をはじめ、宝物や歴史資料を展示公開しています。ご参拝の折には、ぜひお立ち寄り下さい。（毎週木曜日休館）